

事業番号	05 05 09	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	(信州ACE(エース)プロジェクト関連)				担当課	部局	健康福祉部	
	運動習慣定着促進事業					課・室	健康増進課	
総合5か年計画	プロジェクト	4-1-5 健康づくり・医療充実プロジェクト			E-mail	kenko-zoshin@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり			実施期間	H25 ~		
		1 保健活動の推進						

1 事業の概要

目指す姿	Action(体を動かす)の取組として、効果的な運動手法を普及することにより、県民の運動習慣の定着を図り、生活習慣病の予防につなげる。		
現状	<p>[青壮年期]</p> <ul style="list-style-type: none"> メタボリックシンドロームが強く疑われる者・予備群の割合(40~74歳)が男性の2人に1人、女性の7人に1人となっている。(男性:52.7%、女性14.2%【県民健康・栄養調査:H22】) 1人1日当たりの歩行数がH22県民健康・栄養調査と比べて減少している。(男性20~64歳:7,430歩、女性20~64歳:6,731歩【H25】) <p>[高齢期]</p> <ul style="list-style-type: none"> 要介護高齢者の割合が全国平均より高い。(要介護1:19.6%、要介護2:17.6%、要介護3:13.9%、要介護4:13.9%、要介護5:12.2%【厚生労働省「介護保険事業状況報告」:H24】) 介護二次予防対象者の割合が全国平均より高い。(運動器機能低下のおそれ:18.4%、閉じこもりのおそれ:5.3%、認知症のおそれ:12.1%【厚生労働省「介護予防事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査」:H23】) 		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 実施中	感染症予防事業費等国庫負担(補助)金交付要綱 健康増進法第18条第2項、第19条の3の規定による。

事業内容	① 成果目標(H26)					
	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりのために運動に関する取組を行っている人の割合 69.6% (H27) 「歩くこと」や「体操」など体を動かす取組を住民へ実施している市町村の数 77 (H29) 1日当たりの平均歩行数(20~64歳) 男性:9,000歩(H29)、女性:8,000歩(H29) 					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)
	インターバル速歩などの効果的な運動手法の普及	直接	1 インターバル速歩等の効果的な運動手法に関する実技講習会、地域や企業における運動習慣定着に関する取組事例の発表、意見交換会、活動量計を利用した健康づくりの「見える化」体験会を開催。(12月と1月計2回開催、市町村、企業、保健所の運動指導者や運動支援ボランティア等、約90名参加) 2 受講者は地域の住民講習会などで、対象者に応じた運動の方法・効果を普及。	179	79	477
	運動効果の普及啓発	直接	イベント等での活動量計体験、リーフレットによる運動効果等の周知・啓発	162	47	
			合計	341	126	477

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	1,275	754	341	477
	補正予算				
	合計(A)	1,275	754	341	477
	国庫支出金	637	377	170	238
	県債				
	その他()				
	一般財源	638	377	171	239
	決算額(B)	1,275	635	126	
概算職員数(人)	1.00	1.20	1.20	1.20	
概算人件費	8,258	9,910	9,931	9,931	
概算事業費(B(A)+C)	9,533	10,545	10,057	10,408	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
健康づくりのために運動に関する取組を行っている人の割合	62.6%	69.6%	65.7%	未達成	70.6%

目標に対する成果の状況	ACEプロジェクトの中で運動に関するモデル市町村や企業を選定し、その取組を積極的に情報発信するとともに、運動指導者等を対象とした効果的な運動手法に関する研修会、長野県版身体活動ガイドライン「ずくすガイド」の活用に関する講演、グループワークを取り入れた参加型の研修会を開催し、地域における運動習慣定着の促進を図った。成果指標については、前年度から3.1ポイント増加しているが未達成であった。目標達成のために運動の効果に関するより一層の普及啓発と、運動やスポーツに関する関係団体との連携、市町村等の運動指導者の育成や技能向上を通じた、地域の運動習慣定着の仕組みづくりの促進が必要。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 健康運動指導士会や総合型地域スポーツクラブ等の運動に関わる団体等と協力・連携し、地域における運動習慣定着の効果的な取組を推進する。
-------------------	--